

## 南インドにおける生理用品の普及に関する予備調査

人間・環境学研究科 修士課程 1年

柴谷 朱音

インド

2017年8月25日～2017年9月25日

### 計画の概要

本渡航は、修士論文「現代インドにおける生理用品の普及とそれに伴う月経観の変容（仮）」の執筆の為に、第一回予備調査としての渡航である。本渡航の主な目的は、本調査に向けた調査地の特定であり、滞在期間は1ヶ月である。タミル・ナードゥ州の西部に位置するコインバトールにある、Jayashree Industries を訪問し（Jayaashree Industries の概要：インドにおける「生理用品の革命」を実現させたと言われる、アルナチャラム・ムルガナンタム氏によって創立された企業である。ムルガナンタム氏は、低価格の生理用ナプキンを製作するシンプルな機械を発明すると共に、インド内27州とインド外7ヶ国において1300以上のその機械を地方の村に設置し、それらの女性自助組織の運営の為に女性の雇用を創出することに成功した。生産されたナプキンは、ローカルな市場で格安にて販売されており、都市と農村部の間の格差による生理用品の普及の滞りを乗り越えていると注目される。）、創立者ムルガナンタム氏との面会、現地企業のスタッフの視察に同行した、事業が導入された農村への訪問を行い、現地で聞き取り調査を行うことが当初の計画であった。

### 成果

タミル・ナードゥ州、カルナータカ州の二州にて予備調査を行った。当初の計画通りに調査は進まなかったものの、本調査に向けた調査地の特定という、本渡航の目的は達成できた。

1つ目の滞在先であるタミル・ナードゥ州コインバトールでは、Jayashree Industries におけるムルガナンタム氏との面会、2つ目の滞在先であるカルナータカ州マイソールでは、生理用ナプキンの生産工場への訪問と薬局・スーパーでのマーケット調査、3つ目の滞在先である同州バンガロールでは、都市部のスラムにて生理衛生の意識啓発・生理用品の普及活動を行う、現地のNPO団体、Sukhibhava への訪問を行った。Sukhibhava では

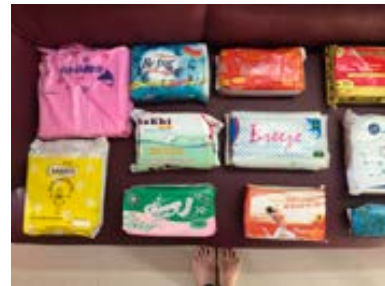
1週間滞在する中で、バンガロール市内点在するスラムでの実際の活動、運営メンバーのミーティング等に参加し、都市部貧困層の生理用品の普及状況の調査を行った。

調査では、生理用品の価格が生理用品の普及に大きく関わる事項であることが分かった。経済的余裕のない貧困層にとって、生理用品は消耗品であり贅沢品でもあり、伝統的に使用されてきた布による対処が多く見られた。生理用ナプキンを使っている場合においても、働きにでている日中は、1日の内に取り替えを行わないなど、使用状況が特殊である。そのような使用状況の為に、大きいサイズのナプキンのヴァリエーションが豊かであると考えられる。薬局・スーパーにおける聞き取り調査においても、クオリティーよりも安さ、大きさを重視したタイプのナプキンが多く売れることが分かった。



Jayashree Industries 創業者  
ムルガナンタム氏と

活動に参加した現地 NPO 団体 Sukhibhava では、セッションと呼ばれる、月経に関する知識や生理用品の存在を広める寄り合い講座を開催しており、そのトレーナーに同行し、複数のスラムを訪れた。そこでは、「月経が何か。」あるいは月経と妊娠の関係性などを、月経に関する知識がそれほど浸透していない状況が見られた。Sukhibhava では、独自に生理用品の企業と連携し、市場で売られている平均的な価格より安い値段での生理用ナプキン、再利用可能な生理カップなど、生理用品の販売も行っている。しかしながら、それほど、販売の成果があがっていないのが現状のようであり、コスト面以外で、生理用品の普及が進まない理由を考える必要があるであろう。



今回の渡航では、月経それ自体に対する認識や月経への対処にまつわる女性たちの事情といった詳しい聞き取り調査を進めることができなかった。しかしながら、本調査における、調査地の特定（都市部であるバンガロールにおけるスラム）は達成できた為、次回の渡航、本調査においてより調査を深めていきたい。



マイソール、Samahit 生理用ナプキンの工場



バンガロール、スラムでのセッションにて